

# みんなの声



## ♪喜びの声

◎喫茶「ラビカ」ができて、公民館の外にわざわざ行かなくても食事ができるようになり、便利になりました。

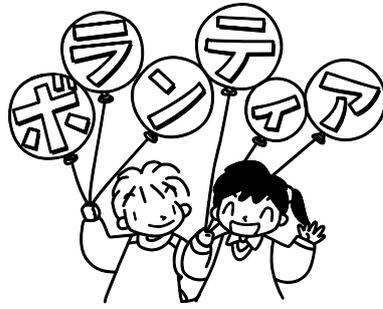
◎アンケートボックスがあり、お客さんのニーズに応えようとする姿勢は素晴らしいと思います。成果が出ることを期待します。

## ?疑問の声

◎“地産地消”のその後の活動はどうなりましたか?

お返事⇒今年も着々と計画中です。楽しみに待っていて下さい。

【ボランティアさんから頂いた植物。大きな葉っぱの間から可憐で豪華なカラーの白い花が咲きました。外は白い冬。でもラビカはもう春でした。】



# ありがとう

支援センターラビカ‘あ、の活動にご協力いただいたみなさんです。

井上信子さん, 細川康子さん

石川雅子さん, 佐藤時雄さん

本当にありがとうございました。

\*ここ最近のボランティア状況についてのお知らせでした。ご芳名もれの方がおりましたら、お許しいただきたいと思っています。

## ラビカの 屋根裏部屋

吉田 建法

以前、某団体で聞いた話を思い出します。「Aさんって本当に一生懸命やっているように見えるよね。毎月の定例会議は欠席ばかりなのに、イベントがあったら、“力仕事はオレに任せておけ”という感じで動いているし、酒の席は欠かしたことがない。目立つから、いつもやっている」と錯覚してしまう。」と。

なるほどなるほどと聞いて、思わず自分と比べてしまった。『毎月の定例会議』・・・出ない方が多い。『地産地消をテーマにした食のイベント』は、3回目で初めての参加。『大好きな酒の席』は、ほとんどない真面目な団体。となると自分は何をやっているのか?と首をかしげてしまう。

でも、たまに会議に出ると原稿の依頼がある。(1月号の「きらきら ひかる」そして、今回の「屋根裏部屋」) 唯一出た打ち上げの2次会で歌ったら、思いっきり笑われたけど、「また今度歌ってね。」と持ち上げられた。

どうやらこの団体は、たまにしか出ない人を大切にしてくれるようだ。幽霊会員の私だけけれど、こんな【思いやりのある仲間】と出会えたことをうれしく思っています。



<発行>NPO法人赤平市活動支援センター 〒079-1136 赤平市本町3丁目1番8(赤平市公民館内) TEL・FAX 32-3888  
<発行責任者>本田 憲司(ニモ誌担当) <表紙>新出 郁子(広報部チーフ) <編集者>佐藤 智子(広報部)  
E-mail: rabika@mocha.ocn.ne.jp URL: http://www12.ocn.ne.jp/~rabika/